



ちゅーりっぷぐみだより

尚徳福祉会 日野保育園

2021年3月

まだまだ昼夜の寒暖の差に気が抜けませんが、ぽかぽかとあたたかな陽気が春を感じさせてくれます。ちゅーりっぷ組での生活も残りわずかとなりました。この一年間で、子どもたちは一人ひとりそれぞれたくましく成長してくれました。進級へ向けた準備を進めながら、残りの日々を楽しく過ごしていきたいと思えます。



クラスの様子

進級に向けて、たんぽぽ組で遊んだり、歩行する子は短い距離を保育者と手を繋いでお散歩したりしています。玩具で遊んだ後も「お片付けしよう」と声を掛けると、玩具や絵本を棚やかごにしまってくれます。「お外に行こう!」と声を掛けると保育者の所に集まり、自分の靴下を履こうとする子や、『はかせて!』と差し出す姿が見られます。身支度も自分たちなりにやってみようとする気持ちが現れ、成長を感じます。大好きな給食では「はやくたべたいよ」と催促する子、手掴みやスプーンを用いて食べる子も増えてきました。遊びも大きく変わり、友達と同じ玩具を求めたり、同じ場所で関わりながら楽しむ姿が見られるようになりました。引き続き、一人一人の『今』を見つめながら、元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。



みんなおおきくなったね

ちゅーりっぷ組は入園当初から人気者です。部屋で遊んでいるときは、入り口からお兄さんお姉さんが声を掛けて、手を振ってくれます。園庭に出ると「かわいいね」とあやしてくれて微笑ましい関わり合いがたくさん見られます。初めての保育園生活で不安だった子どもたちも、友達と手を繋いだり、一緒に同じことをして笑い合ったりと可愛らしい姿をみせてくれるようになりました。ずり這いや伝い歩き、歩行が安定し、行動範囲が広がったことで遊びも変わってきました。入園当初は、見て楽しんでいた手遊びも今では歌を口ずさみながら手を動かし一緒に楽しんでいます。担任との信頼関係が深まるにつれて、見慣れない保育者に涙する時期もありましたが、成長過程において大切なことです。そんな一人ひとりの成長を見守ることができ、保護者の方々とその感動を分かち合えた事、とても嬉しく思います。

一年間、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

今後の更なるお子さんの成長を願いながら見守り続けたいと思えます。

担任一同